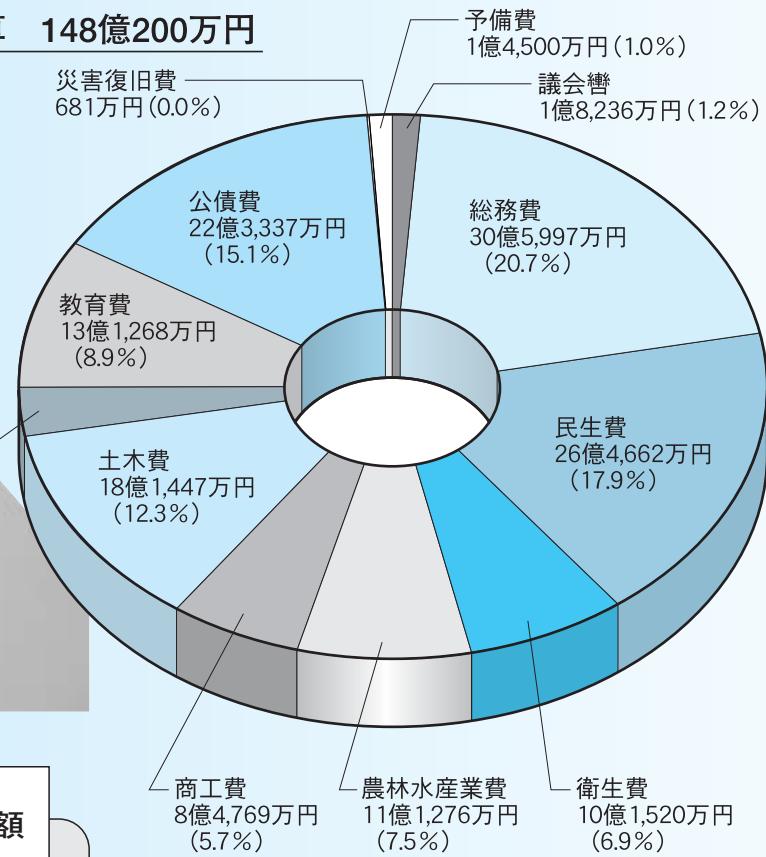


一般会計予算の内訳

() 内は構成比

歳出予算 148億200万円



一般会計にみる
市民 1人当たりの予算額
(未収未払金を除く。)



使われるお金
434,349円
負担する市税
110,948円

<人口 32,178人
平成16年 6月1日現在>

旧東部町及び旧北御牧村の決算は3月31日をもって打ち切り決算となりました。通常は4月及び5月の出納整理期間中に15年度に係る収入と支出を精算することとなりますが、合併によりこの出納整理期間がなかったため、新市において精算をすることとなりました。これを未収金、未払金として、一般会計においては未収金4億7千5百77万4千円、未払金8億2千5百51万5千円を新市の予算に盛り込みました。前述の予算総額からこの未収金と未払金を差し引いた金額が東御市としての純粋な予算となり、歳入予算額で143億2千6百22万6千円、歳出予算額で139億7千6百48万5千円が純東御市予算となります。

未収金と未払金

1、合併に伴う特別な財源
合併に伴う事務事業に対する国や県の財政支援策として、合併補助金、特別交付金や合併特例債があります。電算システムの統合整備事業(事業費7千3百万円)に合併補助金を、移動図書館購入費(同1千2百万円)に特別交付金を、和コミュニティセンター1建設事業(同1億3千6百3万)等に合併特例債を財源として予算化しました。

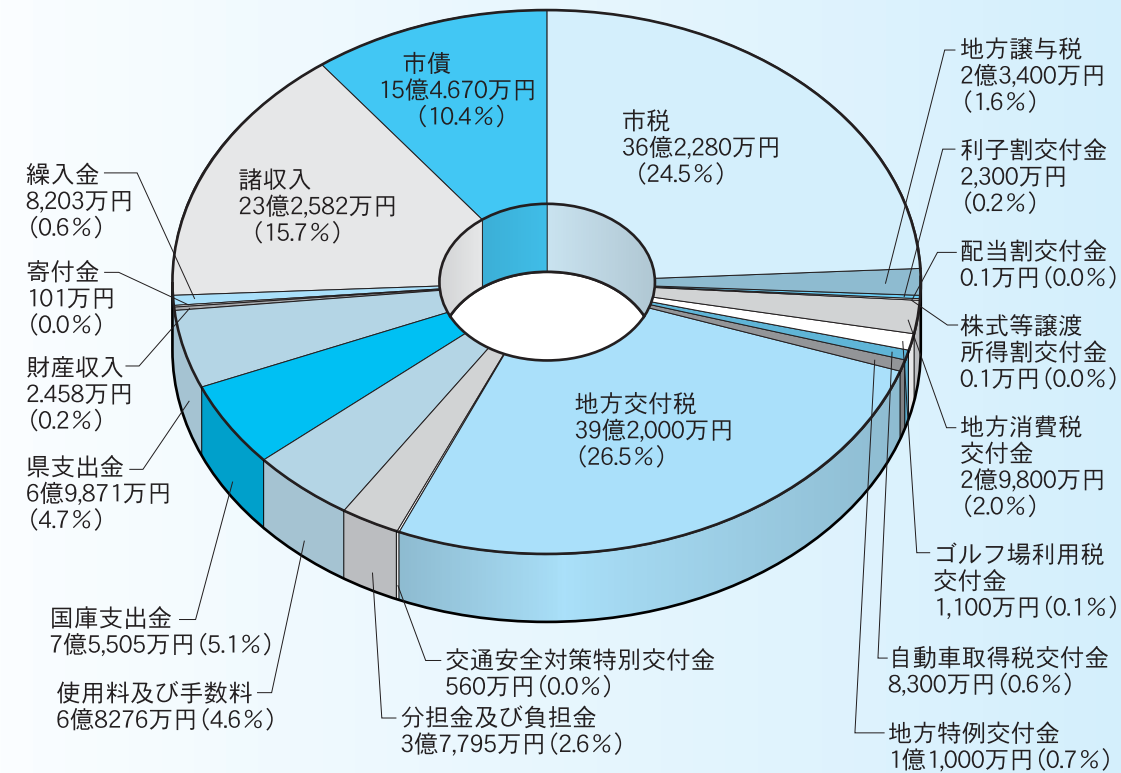
一般会計予算の特徴

2、款別予算の状況
款別では、総務費が30億5、997万円(構成割合20・7%)と全体の中で第1番目の予算額となっています。これは電算システムの統合整備や新市発足PR事業等の合併関連費用等が含まれているためです。
第2番目は民生費で26億4、662万円(同17・9%)で、市になることによって県から事務移管された生活保護関連費用として1億1、140万円が含まれています。
第3番目は公債費で22億3、337万円(同15・1%)となっています。次いで土木費(同12・3%)、教育費(同8・9%)、農林水産業費(同7・5%)、衛生費(同6・9%)、商工費(同5・7%)、消防費(同2・9%)の順となっています。

一般会計予算の内訳

() 内は構成比

歳入予算 148億200万円



予算概要

平成16年度東御市通常予算が6月25日の議会において議決承認されました。予算総額は一般会計で148億200万円、国民健康保険特別会計等の13の特別会計合計額で98億423万円となりました。一般会計では旧東部町及び旧北御牧村の平成15年度当初予算の合計額132億3千7百万円に対して15億6千5百万円(11・8%)の増となりました。これは、旧町村に係る未収金・未払金及び新市としての合併補助金等を活用した事業を予算化したことが主な増加要因となっています。

予算の編成方法

予算編成方法は旧東部町、旧北御牧

村において、歳出は新規事業を含めないこと及び歳入は基金を取り崩さないことを前提にそれぞれで別々の単独予算を編成して合算することとし、ここに合併協議による新市としての事務事業予算を加えることにより全体予算としました。特別会計においては、国民健康保険特別会計等の旧東部町と旧北御牧村に共通するものは1つの会計にまとめ、有線テレビ特別会計等の旧町村固有の会計はそのまま継続をしました。なお、旧北御牧村の小規模下水道事業特別会計は一般会計へ、村営水道特別会計は水道事業会計(企業会計)へ組み入れ、特別会計としては廃止しました。



平成16年度予算の概要